


令和3年度		
氏名	いわくら せつお 岩倉 節夫	
生年	昭和20年生	
住所	香川県まんのう町	
品目	<p>ひまわり・薬用作物（ドクダミ・ヨモギ）</p> <p>ひまわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まんのう町では30年以上前から景観形成作物として栽培が開始。</li> <li>・ ひまわりオイルが開発され町の特産品に成長</li> <li>・ 町では、ひまわりの里づくり事業が取り組みられ、約100万本が町内で栽培。</li> </ul> <p>薬用作物（ドクダミ、ヨモギ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域特産物開発を目指した取組を通じて栽培が開始され、生薬製剤や健康食品等の原材料としての販売を実現</li> </ul>	
技術	<p>オイル用ひまわりの栽培・加工、地域資源を活かした多様な薬用作物等の栽培</p> <p>ひまわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 油用ひまわり品種を先駆的に導入。農薬を用いない栽培、オレイン酸含量の多い品種を用いたひまわりオイルの製品化・特産品化を牽引</li> <li>・ 町特産「まんのうひまわりオイル」は、品質を重視し、昔ながらの低温圧搾法でじっくり抽出し、精油過程で保存料等を用いず製造</li> </ul> <p>薬用作物等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で自然採取した薬用植物からスタートして生薬会社等への販路を開拓し、作物としての栽培を開始</li> <li>・ ドクダミやヨモギといった一般的な薬用作物のみならず、マコモやゴーヤ、ウラジオガシなど多様なものも生薬や健康食品等の原材料としての販路を開拓し、栽培</li> </ul>	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オイル用ひまわり品種の栽培から収穫について地域の生産法人の組合員等へ技術指導</li> <li>・ 「まんのうひまわり振興協議会」で、栽培者らの共同利用・作業受託のための専用コンバインの導入など地域の生産体制整備やひまわりオイルを使ったドレッシング等の付加価値の高い加工製品の開発を推進</li> <li>・ 薬用作物等について、自ら実証圃を設置して調査を進め、栽培のしおりを作成・配布</li> <li>・ 組合員の薬用作物等を調製・加工して販売する「まんのう生薬協同組合」を設立し、専用乾燥機の導入、出荷規格の勉強会や栽培講習会の実施等を推進</li> <li>・ 地元小学校の総合学習で、ひまわりの播種からオイル製造、給食使用までの授業を実施</li> </ul>	
相談に 応じられる 分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オイル用ひまわりの栽培・加工・商品開発</li> <li>・ 薬用作物等の導入、栽培・加工・販売</li> <li>・ 地域農産物の特産化やブランド化、6次産業化による地域の活性化</li> </ul>	
受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成25年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 農林水産大臣賞 (当時自治会長を務めていた帆山地区) (まんのうひまわりオイルの受賞)</li> <li>・ 平成30年度 かがわ県産品コンクール 最優秀賞(県知事賞)</li> <li>・ 平成30年度 優良ふるさと食品中央コンクール 農林水産大臣賞 (一財)食品産業センター)</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年 第15回日本農業新聞一村逸品大賞後期優秀賞</li> </ul>
主な役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年4月～ まんのうひまわり振興協議会 会長</li> <li>令和3年6月～ まんのう町美しいまちづくり協議会 会長</li> <li>令和2年4月～ まんのう生薬協同組合 組合長</li> <li>令和3年4月～ 一般社団法人サンフラワーまんのう 理事</li> </ul>
H P	

